仕様書

◆シミュレーション画面

用語：

以下文書の中で、使われる用語の曖昧さを回避するため、ここにまとめて記しておく。

左部が用語の名前、右部が用語の意味を説明する。

コード　　:　プログラムの記述(一行または複数行)

ステップ　:　命令(コードといっしょ,　ステップ数=行数)

トレース　:　各種の値を見ること

----概要----

上部で目的を宣言しているので、下部で挙げるこのアプリケーションを用いて出来ることと目的を対応付けるほうが分かりやすいのでは

◆目的(どんなときに使う？)

・あるコードの実行結果が分からない

・あるコードの意味(動作)が分からない

・各値の変化を自分で理解できない

・ある時点でのレジスタ等の値が分からない

↓↓↓

◆使用した結果(できること)

・実行結果を見ることができる

・あるコードが実行された時の各値の変化を視覚化

・あるコードの意味(動作)が分かる

------------

◆機能リスト

①テンプレートの選択

②コード入力

③トレース使用/不使用の選択(チャプタ④/⑤の移行分岐)

④コードトレース

⑤実行結果確認

チャプタという言葉は的確ではないと思います。

◆チャプタ①

　[テンプレートの選択]

・いくつかのテンプレートを選択肢として表示する

・テンプレートを選択できる

・選択されたテンプレートを保持して

　コード入力チャプタに移行する

◆チャプタ②

　[コード入力]

・三つのUIを表示する(コード入力エリア/アセンブリ/実行)

・コード入力エリア:テキストの入力/削除が可能

　保持しているテンプレートを初期入力値とする

・アセンブリ:構文解析(入力値がCASL2の仕様に則しているか確認する)し、妥当か確認

・妥当であればコード実行可能になる

・実行:アイコンをタップして

　コード実行チャプタに移行する

◆チャプタ③

　[トレース使用/不使用の選択(チャプタ④/⑤の移行分岐)]

・チャプタの遷移先を選択肢として表示する

・選択により以下のチャプタへ移行する

　[コードトレース]チャプタ

　[実行結果確認]チャプタ

◆チャプタ④

　[コードトレース]

・三つのUIを表示する(行数設定エリア/Next/Prev)

・行数入力エリア:Nextの実行ステップ数を設定する

　初期値として1ステップが指定されている

・Next:設定数分のステップを実行する

　実行内容に対応するトレース結果を表示する

　最終ステップを実行済みの場合,Nextは無効

・Prev:直近1ステップ前のトレース結果を表示する

　実行済みステップ数がゼロの場合,Prevは無効

※最終ステップまで実行された結果は

　チャプタ⑤での[実行結果]と同一となる(はず)

◆チャプタ⑤

　[実行結果確認]

・二つのUIを表示する(GR結果表示/主記憶の結果表示)

・チャプタ④にて,最終ステップまで

　実行された場合と同じ表示をする